

# 6月議会 市政報告

## 第384回 市議会定例会

審議会に諮問しました。審議会には、計画案がまとまった段階で、答申をいただく予定で、議員の皆さまには、総合戦略について9月定例会、総合計画については来年の3月定例会に計画案をお示しいたいと考えています。また、本年度、地方創生の一つの取り組みとして、国の交付金を活用し、地域消費喚起策として、『プレミアム付商品券なんこく』を発行します。6月下旬に販売を開始し、7月1日から使用可能となります。これに加えて、福祉事務所を窓口にして、『子育て世帯応援商品券』を交付します。いずれの商品券も、市内の加盟店舗で使用することで、地域を元気にするきっかけとするものですので、ぜひご使用いただき、地域活性化につなげていただければと思います。」と述べた後、主要な課題について報告しました。  
(内容はあらまします)

橋詰壽人市長は、各議案の提案説明に先立ち、「5月19日には、第138回四国市長会議が本市で開催され、国への要望事項について審議しました。会議では、45の議案が提出され、特に、『四国8の字ネットワーク』の早期実現について、多くの賛同がありました。また、地方創生については、県が本年3月に『高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略(暫定版)』を策定し、8月までに人口の将来展望を盛り込んだ確定版を策定する見込みです。本市でも、国・県の総合戦略を勘案して、2060年までの『人口ビジョン』と本年度から5カ年の『南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を10月をめどに策定します。4月には各種団体代表者、有識者、公募市民など合計30名で組織する南国市行政計画審議会を設立し、すでに2回の会議を開催しました。4月28日の第1回目の会議では、この総合戦略と併せて、平成28年度から始まる『第4次南国市総合計画』につ

### 南海トラフ地震対策 家具転倒予防金具等 取付事業

昨年度までは、高齢者や障害者などの世帯が事業対象者でしたが、本年度から要件を緩和し、全市民を対象としました。また、家具の固定ができていないご家庭は、この制度を活用して地震に備えていただきたいと考えています。

### 地域集会所等の耐震化

津波浸水区域外にある昭和56年5月31日以前に着工された地域集会所などを対象に、国および県の補助制度などを活用して、地域の公民館などの耐震化のための補助制度を新たに創設しました。これにより、災害時における避難者の収容力拡大を図るよう支援してまいります。

### 財政状況

収納率や加入率の向上など適切な運営

平成26年度一般会計の形式収支は、5億6千875万5千円の黒字となります。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除すると、実質収支は3億6千866万6千円の黒字と

なります。このうち財政調整基金に1億8千500万円の決算積み立てを行い、翌年度繰越金は1億8千366万6千円となります。

特別会計への繰出金の増大は一般会計を圧迫しますので、特別会計でも収納率や加入率の向上、また受益者負担の適正化を図り、適切な運営に努めます。

### 地域おこし協力隊員 新たな視点や発想による 地域活性化へ

中心市街地の活性化や地域活動の応援による地域力の向上を活動内容として、5月1日より地域おこし協力隊員1名が着任しました。まずは地域の活動や地域資源を広く知ってもらい、その上で新たな視点や発想で地域住民と共に活動を活性化させていきたいと考えています。本年度は3名の地域おこし協力隊員を採用する計画で、10月の着任に向けて再募集を行っています。

### 国民健康保険特別会計

健康づくりと医療費の適正化による安定運営へ

平成26年度の歳入総額は61

### 臨時給付金

「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」の実施

平成26年度に引き続き実施されます「臨時福祉給付金」は申請受付を本年9月1日から、「子育て世帯臨時特例給付金」は6月1日からとし、市ホームページや広報6月号において周知を図ったほか、システム改修などの体制整備を行っています。

### 消防団活動

災害に備えた初動体制確立へ

消防団は、昨年の台風上陸時に多くの警戒、水防活動を行ったことを踏まえ、水防訓練に積極的に取り組んでいます。また、昨年の広島市での土砂災害を教訓に、各消防団に土砂災害警戒区域の地図を配布し、危険個所の周知に努め、警戒、避難などの実効力のある初動体制の確立に努めています。

### 第1回総合教育会議

教育に関する大綱を検討

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、本年度から総合教育会

億4千771万7千円、歳出総額は61億737万3千円となり、4千34万4千円の決算剰余金が生じましたが、金額を本年度の国などへの返還金の財源として繰り越しました。特定健診は、受診の機会拡大を図ることを目的として、本年度より受診券の有効期間を3月末日まで延長しています。今後受診しやすい環境づくりに努め、市民の健康づくりと医療費の適正化により国保財政の安定運営に努めます。

### 新型インフルエンザ対策 感染予防の行動計画策定

いつ発生するか分からない新型インフルエンザなどの感染症に対応するため、国、県の「新型インフルエンザ等対策行動計画」に準じて「南国市新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しました。今後は、新型インフルエンザなどの対策には日頃からの感染予防が重要となることから、手洗いや咳エチケットなど、日頃からの取り組みの啓発に努めます。

議を設置しました。第1回目の会議は4月15日に開催し、教育の振興に関する施策の大綱について検討しました。会議では、「第3次南国市総合計画」や本市における教育課題、取組実績などを踏まえ、本市として今後目指すべき教育の基本的な方向性や、重点的に取り組むべき行政施策を示している「南国市教育振興基本計画」を、本市における大綱とすることを決定しました。

### 子ども・子育て支援

保育料見直しで、子育て世帯の経済的負担軽減

本年4月1日からの子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、従来の保育料を使用料に改定し、額の見直しを行いました。これにより平成26年度と比較して、全体で約6千300万円、約16%の引き下げを行うとともに、保護者所得階層を増やすことで、子育て支援の推進と子育て世帯への経済的負担の軽減を図りました。

### ごみの戸別収集

高齢者や障害者世帯の支援

本年度から、ごみステーションへごみを出すことが困難な高齢者や障害者の世帯への支援を目的とした、ごみの戸別収集を開始しました。長寿支援課および福祉事務所を申請窓口として、必要な世帯に対して、ごみステーションで収集している品目について、週1回、玄関先などで回収する制度で、50世帯程度が対象になると見込んでいます。

### 国営ほ場整備事業

36集落で準備会設立

国によるほ場整備事業・国営緊急農地再編整備事業は、本市の農業振興、農業基盤の整備方向などを検討する「地域整備方向検討調査」が3年目を迎え、平成27年3月末現在、36集落で整備構想千ヘクタールを超える面積で準備会が設立しました。4月には準備会全体説明会を開催し、準備会設立状況や今後の調査スケジュールなどの説明を行いました。今後は、国の採択を受けて事業計画案を作成する「地区調査」への移行に向け、精力的に準備会勉強会、説明

### 観光イベント

土佐の食1グランプリで「軍鶏ツケ」が優勝

4月4日、5日に「岡豊山さくらまつり」と「土佐の食1グランプリ」が開催されました。土佐の食1グランプリでは、高知農業高校とごめんシャモ研究会のコラボ商品である「軍鶏ツケ(シャモツケ)」が優勝し、なんこく空の駅推進協議会の「四方竹肉巻フライ」も上位に入賞しました。スウィーツ部門では、西島園芸団地の「西島イチゴのパンケーキ」がベストスウィーツ賞に選ばれるなど、本市の食の豊かさが示されました。

長宗我部元親飛翔の像建立

5月3日、地域の方々の悲願でありました、長宗我部元親飛翔の像が県立歴史民俗資料館エントランスに完成し、除幕記念式典が開催されました。建立に向けてご尽力された建立委員会の方々や関係者、協賛者のほか、多くの長宗我部ファンが会場に集い、新しい岡豊山のシンボルの完成を祝いました。